

1. 本県周辺海域の概況(図1, 3/9現在)

- ・黒潮の流型はC型で推移しています。黒潮本流は、犬吠埼南東90マイルを北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39° 00' 東経142° 30' 付近(気仙沼沖)にあります。親潮の面積は平年より大きくなっています。東北海域の海面水温は低めで推移し、かなり低めの海域も一部みられます(気象庁2/27発表)。
- ・本県沿岸域と会瀬～大洗沖にかけて親潮系冷水が南下しています。一方、鹿島～犬吠埼沖には暖水の流入が見られます。

2. 海洋観測結果(3/5～6:調査船「いばらき丸」)

- ・荒天により、会瀬・大洗定線では東経141° 45' まで、鹿島・犬吠埼定線では東経141° 30' までの観測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差)を図14～15に、鉛直水温図(平年偏差)を図16～17に示しました。
- ・海面水温は、会瀬沖で6.7℃～8.0℃、大洗沖で7.8～9.4℃、鹿島沖で8.4～14.6℃、犬吠埼沖で8.6℃～16.8℃でした(①, 図2)。
- ・前月と比べると、沿岸域では全域で降温しました。会瀬・大洗沖の0～100m深では前月とほぼ同じ水温でしたが、鹿島・犬吠埼沖では暖水の流入があり、升温しました(②)。
- ・平年と比べると、暖水の流入があった鹿島・犬吠埼沖では「やや高め」となりましたが、その他海域では0～200m深の広い範囲で概ね「低め」でした(③)。
- ・潮流の特徴として、沿岸域および会瀬・大洗沖で逆潮が観測されました(0.5～1.2ノット)。また、鹿島・犬吠埼沖では、黒潮系暖水の流入により、北東向きの流れが観測されました。

3. 今後1か月の見通し

- ・黒潮流型はC型で推移するとみられ、犬吠埼沖を東北東～北東に流去するでしょう。
- ・親潮の面積は平年より大きめで推移する見通しで、親潮第一分枝の先端は北緯38° 30' 東経144° 30' (金華山沖)に位置するとみられます。引き続き本県沖に親潮系冷水の影響がみられるでしょう。
- ・水温を平年と比べると、冷水の影響により沿岸域と北部沖合で「低め」、南部沖合では暖水の影響が残る「平年並み～やや高め」となるでしょう。ただし、暖水が急激に波及した場合、南部の水温が上昇する可能性があります。

